

(プレゼン要旨)

平成23年2月28日
能越ケーブルネット㈱

ケーブルテレビ広域ネットワーク網の利活用について

1. ケーブルテレビの広域連携について

(資料1) 氷見～珠洲 光幹線伝送路図

氷見～奥能登 ケーブルテレビ広域ネットワーク図

- ・ケーブルテレビの光幹線伝送路と広域ネットワーク網の構築
- ・広域連携には。ケーブルテレビ局間の未接続区間の解消が必要
接続に必要な未接続区間の距離は1km余り

2. 奥能登地域のケーブルテレビ加入状況

- ・現在加入率66%、今後2年以内には加入率70%となる

3. ケーブルテレビのハード、ソフト面等での主な特徴

①広域で情報コンテンツを提供できること

奥能登のケーブルテレビ3局(4センター)で、コミュニティチャンネルの番組制作の実績を持っていること。制作の内容は

(資料4) 「コミュニティチャンネルの役割と提供する番組」

を参照下さい

- ② 各地域の映像コンテンツを蓄積していること
- ③ 地域に密着した事業を展開していること。
- ④ 放送と通信、両方のサービス機能を持っていること
- ⑤ 無線と融合したサービスが提供できること
- ⑥ 地域の全世帯が加入可能な施設であること
- ⑦ 加入率が高いこと
- ⑧ 課金システムを持っていること

4. 奥能登地域での地域活性化・観光振興と広域ケーブルテレビネットワーク網の利活用

(資料2) 奥能登2市2町圏域内での観光情報の発信(案内)

奥能登圏域外への情報発信(集客)

5. 地域医療の連携と広域ケーブルネットワーク網の利活用

(資料3) ケーブルテレビネットワーク高速通信網の利活用

6. 安全・安心・便利な地域づくりへの利活用